

ひだまり

ISO9001:2015 認証機関

ISO 9001
BUREAU VERITAS
Certification



日本認知症ケア学会認定施設

岡山ひだまりの里病院 広報紙
第119号

2023年9月発行

発行責任者 藤田文博



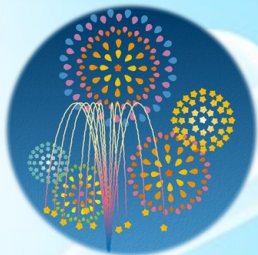
笑顔の

デイケア 夏まつり!



当院デイケアでは8月3日に、夏祭りを行いました。連日の猛暑の中、体調に気を配りながらの開催です。

午前中は夏祭りの定番、『金魚すくい』。金魚をすくう『ポイ』も、利用者さんの手作りです。書字紙を丸く切って糊で貼りつけました。きれいにピンと張れると気持ちいいものです。当日、自分の番が来ると小さい頃にやっていた記憶を思い出し、ポイで金魚をすくっていました。上手い下手がでるのは、器用さなのか運なのか、それとも実力なのか。上位3名には表彰状の授与です。結果は、2位と3位は22匹ずつ、1位は24匹。表彰され「えっ、私?」と驚かれています。一昨年の1位で今年は2位の人は、悔しそうにされていました。



午後からは花火のDVD鑑賞。「わあ、すごい!」「大きい」「昔に見た」などの声が出ていました。あと『綿あめ屋台』です。このために『綿あめ製造機』を借り、ご自身でも作れるようにしました。「甘くて美味しい」「フワフワしている」「子どもの頃に食べた」など、好評です。「美味しいなあ」と、みなさんが召し上がりました。

夏祭りによって、季節を感じてもらえた一日だったと感じます。

介護福祉士 相田知子



看護部 新体制紹介

8月より外来看護師の変更及び、病棟の職場責任者の異動・任命を行い、体制は大きく変わりました。

認知症治療病棟である3階と4階病棟は、教育病棟として定め、職員の教育・育成、病棟運営、管理の強化を目的に、新しく副主任を配置しました。師長、主任、副主任と、職責者の体制をより強化しました。

職員教育及び課題に対する取り組みを行い、より一層、患者さまの看護・ケアの充実を図っていきます。今後とも、よろしくお願い致します。
総師長 國分 祐子

2階病棟



藤井師長

松村主任

2階病棟は60床の精神療養病棟です。認知症治療病棟で比較的安定された患者様の受け入れを行っています。一人ひとりにより良いケアを提供するためにはどうしたら良いか、日々考えカンファレンスで検討し実践しています。また、療養生活をいきいきと過ごせるように、季節の飾り付けをしたり、誕生日会や季節の行事などのレクリエーションを計画するなど、楽しいひとときを過ごしてもらっています。

3階病棟では、これまで取り組んできた様々な経験と他職種との連携を活かしながら、心の通った看護・介護を目指し、みんなが笑顔で過ごせる病棟にしていきます。

職員間でもなんでも相談できる環境を作り、働きやすい職場にできたらと思っています。

至らないところもあるとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

3階病棟



若松主任

山本師長代理

塩本副主任

4階病棟



苦田主任

宮原師長

銀羽副主任

4階病棟は7月より新体制となり、今年度は新たに短期集中治療チームの立ち上げを目指しています。

これまで以上により早く症状が落ち着き、早期に自宅や施設に復帰できるようなケアを展開していきます。

地域の応援団をつくる

— 子ども向け認知症サポーター養成講座 —



岡山市放課後児童クラブ『いるか』さんへ、子ども向けの認知症サポーター養成講座の出前講座に行ってきました。当院からは医師と相談員、岡山市南区南地域包括支援センターからも職員さんが出向き、一緒に行ってくださいました。当日は当院の患者さんも参加され、子どもたちと触れ合いました。

当院医師から『にんちしょうってどんな病気?』と題してのお話。お話後、子どもたちからは「先生、楽しかった!」の声をいただき、ほっこりしました。

アンケートでは「にんしょうの人としゃべったけど、ふつうに話せた」「おばあちゃんとおはなしができてうれしかった。またきてほしい」「認知症の人は大変なんだと分かりました。周りのサポートが大切なんだと思いました」などの感想をいただき、病気のこと、病気に対する偏見を持たずに関わることの大切さが伝わっていました。

こうした地域での応援団が少しずつ増え、認知症の方が住みやすい社会を作るお手伝いを、今後もしていきたいと思います。 精神保健福祉士 板野 宏美

認知症サポーター養成講座とは?

認知症に関する正しい知識を身に付けるために認知症の原因や症状、また認知症の方及びその家族への接し方について学んでいただくための講座です。



自分を見つめ直すきっかけ

8月に長崎で行われた「原水爆禁止2023年世界大会」にはじめて参加してきました。

閉会式では、オンライン参加者も含め約4,300人の方々が参加。核兵器廃絶を願い、世界平和を祈る多くの人たちの思いがひとつになっていました。

78年前に広島と長崎に原爆が投下され、一瞬にして多くの人の命が奪われました。かろうじて生き残った人たちは長い間、後遺症と差別に悩まされています。このような惨劇を二度と繰り返さないためにも、核兵器は廃絶する必要があることを改めて学びました。また、自分に何ができるのか見つめ直すきっかけにもなりました。

署名運動に積極的に参加したり、被爆者の体験や思いを語り継ぐための会へ参加したりと、みんなで一緒に世界平和を実現していきたいです。 精神保健福祉士 間野 朱音





育てた野菜で お盆の準備



今年も暑い夏がやってきました。当院の畑では、トマト、きゅうり、ナス、ピーマン、スイカなどの夏野菜を育てており、今年も続々と実りの収穫をしています。

お盆の最終日に間に合うように、8月15日に4階病棟の作業療法活動で精霊馬（しょうりょううま）作りをしました。精霊馬には、畑で育てたきゅうりとナスを使用。きゅうりとナスに割りばしをさし、きゅうりは馬らしく、ナスは牛らしくなるように足作り。患者さんは「こっちの地域で作ることはなく、売りに来ていたのを買っていた」と手作りの精霊馬に新鮮な眼差しを向けたり、「懐かしいなあ」と当時を思い出している人も居られました。この作業に関心を持ったのか、周りにいた方たちも集ってきて「なにができるの？」と興味津々でした。

夏野菜や精霊馬作りで、患者さんだけでなく私も夏を感じる活動でした。

作業療法士 須々木 雅子



スイカに負けない
(大きい) キュウリとナス！

精霊馬（しょうりょううま）って何？

お盆は、亡くなった先祖や家族を一定の期間だけ、この世に連れ戻すというもの。限られた期間ですから、できるだけご先祖様には長くこの世にいてほしいと思うのが親族の願いでしょう。

先祖をこの世に迎える「迎え盆」の際には早く呼び寄せるため、足の速い「馬」に見立てた「きゅうり」を、あの世にお見送りする「送り盆」の際にはゆっくり帰ってもらうため、足の遅い「牛」に見立てた「ナス」を飾るというものです。

お知らせ

健康まつり中止の お知らせ



10月に恒例で開催しておりました「健康まつり」は、大変残念ですが、今年度も「中止」とさせていただきます。

地域の皆様と楽しい時間を過ごせる健康まつりを職員一同心待ちにしております。



ごあんない

岡山ひだまりの里病院

〒702-8012

岡山市南区北浦822-2

電話 086-267-2011 FAX 086-267-2013

ホームページ <http://hidamari.hayashi-dorin.or.jp/>

《外来》

診療日時：月曜～金曜
9:00～12:30

*予約制です。まずは
お電話でご予約下さい

《認知症デイケア》

実施時間：月曜～土曜
9:30～15:30

(日曜・年末年始はお休み)

相談員、看護師、作業療法士による訪問看護を行っています。詳しくはお電話下さい。

無料低額診療事業を実施しています。
医療費でお困りの方はご相談ください。
入院中の差額ベッド料はいただいております。